

**Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 2月 28日公開**

アミールです。ここエルサレム時間の午後7時まであと2分です（書記注：日本時間2018年3月1日午前1:58）今日は2018年2月28日水曜日、2月最後の日です。あと2分で中東アップデートを始めます。今日も短くアップデートしますが、いくつか報告すべきことがあります。そしてもちろん、現在私たちが祝っている事、この時期の祭りについてもお話します。プリムの祭りです。では、お祈りから始めましょうか。

お父様、あなたに感謝します。ありがとうございます。

私は今、この素晴らしい都、偉大なる王の都エルサレムにいます。

ホロコースト生存者の子孫として、それでいながら、自由の首都、自由の国の自由な者として生きています。これはあなたがあなたの民に対して、真実であられることの証しです。お父様、あなたに感謝します。今日もなお、私たちはエステル記で命じられている事を祝うことが出来ています。これは、あなたが、あなたの民を根絶やしにしようとする者から、あなたの民を守られた、偉大な奇跡です。

お父様、感謝します。2500年以上前にも、現在のイラン、ペルシャの残忍な男がユダヤ人を滅ぼそうとしました。そしてユダヤ人たちは、今日もまだ同じ敵に直面しています。しかし、当時あなたがされたのとまさに同じように、当時あなたが助け手と解決法を与えられたのと同じように、今日もまた、あなたがしてくださる、と私たちはあなたを信頼しています。

お父様、あなたに感謝します。また、あなたの御言葉を見て、あなたが約束を守られる神であることを確認し、そこに安らぐことが出来る、この機会を祝福します。

あなたの御名を祝福します。

この全てを、他にない、最も美しい御名、イスラエルの聖なる方、ユダヤ人の王、全世界の王、ユダ族の獅子であられ、また来られ、兄弟たちの中で最も小さき者に触れる人間を裁かれる方、イエスの御名によって祈ります。皆で言います。アーメン！

アーメン！

皆さん、シャローム！アミール・ツアルファティです。エルサレムより、中東情勢アップデートを短くお伝えします。

その前に、皆さんにお伝えしたいのは、イスラエルの国中で現在、プリムの祭りがお祝いされています。今夜、イスラエルと世界中の全てのシナゴグでは、エステル記が読まれています。エステル記は、ペルシャでの、ユダヤ人を絶滅しようとする計画から、神が彼らを救い出された驚くべき話について書かれています。反ユダヤ主義というのは、初日から常に存在しています。反ユダヤ主義が存在するのは、ただ、神がイスラエルを選んだからです。と言っても、イスラエル国家が選ばれたのは、彼らが優れていたからでも、素晴らしかったからでもありません。彼等の人数が多かったからでもありません。ただ神が、その主権によって、一つの国を主のために取り分けておかれた

のです。彼らを通して、主が働かれ、主ご自身を世界中に表明されるのです。聖書には、神を憎む者たち、神の敵たちが、イスラエルに敵対して、次のように言う、と書かれています。

#### 4 「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしよう。」

(詩篇 83:4)

よく見てください。

誰も、アブラハムを殺そうとはしませんでした。

誰も、イサクを殺そうとも、ヤコブを殺そうともしませんでした。

しかし、ヤコブの子孫が国になった瞬間、神に用いられたモーセによって、神に導かれ、自由人としてエジプトを出た瞬間、この時に初めて、彼らを完全に滅ぼしてしまおうとする、説明のつかない動きが始まるのです。それはパロの軍隊(出エジプト 14 章)から始まって、続けて荒野を彷徨い、アマレクから、バラムに彼らを呪うように頼んだ、モアブの王バラク(民数記 22~24 章)まで。バラムは、神が呪わない民を、どうして私が呪えるのでしょうか、と言いました。事実、彼らは孤立し、他と区別し、自分たちを他の諸国と同じであるとは考えません。神が、目的を持って一時の間、彼らを区別したのです。そして、

「誰にも、わたしの目のひとみには触れさせない。」

と神が約束されたのです。

もし、本気でイスラエルの人に敵対するなら、神が相手ですよ。神が、そう言っておられるのですから！面白いのが、歴史を通して、ユダヤ人を殺そうとする試みは、さらにどんどん増えていきますが、その理由は他でもなく、ただ「ユダヤ人だから」というだけです。面白いのが、エステル記の中で、ハマンが王アハシュエロスの前に進み出た時、彼の次のような発言が、聖書には書いてあるのです。ハマンは、モルデカイが膝をかがめず、ひれ伏そうともしないのを見ました(エステル 3:2)。そして彼は、8 節で、王にこう言っています。

#### 8 「あなたの王国のすべての州にいる諸民族の間に、散らされて離れ離れになっている一つの民族がいます。彼らの法令は、どの民族のものとも違っていて、彼らは王の法令を守っていません。それで、彼らをそのままにしておくことは、王のためになりません。」

(エステル記 3:8)

ハマンは、モルデカイが彼の前にひれ伏さないのは、彼には、彼が膝をかがめ、ひれ伏す神がいるからだ、ということに気づいていました。そこでハマンは、彼らのことを異なる民族、奇妙な民族だ、と伝えようと思ったのです。それから言いました。

「彼らをそのままにしておくことは、王のためになりません。」

面白いと思いませんか？ただ、モルデカイだけがハマンに膝をかがめなかつただけで、ハマンは考えたのです。

「モルデカイだけでなく、帝国中のユダヤ人全員を殺そう。」

そして、さらに面白い事に、よく考えてみれば、エステルが受け取ったのは、立ち上がり、彼らを殺そうとする敵に抵抗する権利です。さらには、先制攻撃の権利です。つまり、

「あなたが私に敵対して攻めるなら、その前に私があなたを殺す。」

面白いと思いませんか？

イスラエル、ユダヤ人は、自衛する権利を得たのです。その前は、そんなものはなかったのに、ここで彼らはそれを得ました。自衛について、敵が行動に出る前に、立ち上がって殺すことが出来る、と聖書のエステル記には書かれています。これを、私たちは先制攻撃と呼びます。なぜ、私が今この話をするかというと、今日我々は、必要な事を行うために、イランが私たちを攻撃するまで、待つ必要はないのです。彼らは何かを企んでいる、と我々に分かれば、彼らは何かをしようとしていることが分かれば、何かが起こっていることが分かれば、我々には、我々に敵対する者に対して立ち上がり、攻撃する権利が聖書の中で認められているのです。

面白いのは、2500年以上もイスラエル人たちは、エステル記に記されている祭りを祝っているのです。聖書は、それを祝うように告げています。エステル記9:19にこうあります。

19 それゆえ、城壁のない町々に住むいなかのユダヤ人は、アダルの月の十四日を喜びと祝宴の日、つまり祝日とし、互いにごちそうを贈りかわす日とした。

(エステル記9:19)

その後、命令について、こうあります。

21 それは、ユダヤ人が毎年アダルの月の十四日と十五日を、

22 自分たちの敵を除いて休みを得た日、悲しみが喜びに、喪の日が祝日になった月として、祝宴と喜びの日、互いにごちそうを贈り、貧しい者に贈り物をする日と定めるためであった。

(エステル記9:21~22)

だから私たちは、聖書が告げている事を、毎年毎年守っているのです。そして、興味深い事に、今日、私たちが覚えて祝っている事が、今日私たちが直面していることにピッタリと当てはまるのです。これに、私はただ、物凄く驚嘆したのです。そして、エステルがあの時、あそこにいた事について、聖書が告げているように

14 「…あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためであるかもしれない。」

(エステル記4:14)

今日の、私たちの指導者たちがそこにいるのも、もしかするとこの時のためであるかも知れません。そう考えると、敵が、ベニヤミン・ネタニヤフをしつこく告発し、彼をイスラエル首相から降ろそうとする理由も、これで納得出来る気がします。もしかすると、彼も、この時のためにここにいるのかも知れませんから。

ということで、今夜(2月28日)から祝いが始まる祭りについてお話をしました。

個人的には、私は明日をとて楽しみにしています。明日は、私の息子のバル・ミツバで、13歳の誕生日なのです。私にとって、本当に大切な子で、神が、素晴らしい子どもたちを私に与えてくださったことに、心から感謝しています。私の人生の宝物です。

では、アップデートを始めます。

まずは、今朝分かった事からお伝えしますと、イスラエルの衛星が、ロシアがシリアに持ち込んでいるステルス戦闘機 SU-57 (スホイ 57) を発見しました。また、シリアにもう一つ、イランの基地があることが分かりました。ダマスカス北東部で、彼らが小、中距離ミサイルを保管している倉庫です。前回、イランがダマスカス周辺に確立している事が分かったときは、発見から 48 時間以内に、我々がそれを破壊しました。そして、ロシアのステルス戦闘機の存在のために、我々が行動に出るまでに少し時間がかかるかも知れませんが、これに関しては、我々は必ず、然るべき事を行いません。約 2500 年前のペルシャ同様、イランは継続して何としてでもイスラエルの周辺に確立しようと試みています。そうすれば、そこから簡単に我々を攻撃することが出来るからです。イランについて、皆さん、次のことを理解しておいてください。彼らは、核協議で、彼らに与えられている制限について、ほとんど気にも留めていません。そもそもが欠陥だらけの「イランとの核協議」と呼ばれるプログラムの中で最も大きな穴(欠陥)は、誰も弾道ミサイルについて語っていないことです。イランは、弾道ミサイルの開発を一切するべきではない、とは誰も言っていない。国連安保理は、別の決議で、イランがそれを開発することを制限していますよ。しかし、イランは全くお構いなしです。つい先月も、彼らはまた新たな弾道ミサイルを実験しましたし、彼らはそれを行うためなら、どんな手でも使います。ですから、我々が目撃しているのは、こう言ったことを全く無視するイランと、そしてとんでもない協議です。北朝鮮とイランの提携、特にシリアにおいてのそれを危惧しているのは、イスラエルだけでなく、スンニ派アラブ諸国も、アメリカも同様です。北朝鮮がしている事については、後ほどお話しますが、恐らくこれが、ネタニヤフ首相がトランプ大統領と会談する中でメインとなる事の一つでしょう。ネタニヤフは明日、ホワイトハウスに向かいます。彼はトランプと一緒に、アメリカの核協議から撤退、もしくは協議を変更するよう、ヨーロッパを説得する事の可能性について話し合います。ただ、皆さんが理解しておかなければならないのは、核協議は、アメリカが取り消せるものではない、ということです。アメリカは、そこから撤退することは出来ませんが、取り消しは出来ません。なぜなら、核協議は実際、イラン、フランス、イギリス、ロシア、アメリカ、中国、ドイツ、それから EU (ヨーロッパ連合) によって調印されているからです。ですから、アメリカはこれに関わる役者の一人でしかなく、アメリカがそれから撤退するのも一つの手ですが、内側からそれを変えるのがベストでしょう。核協議について、皆さんの多くが恐らくご存知ないのは、イランが既に核協議によって大量のものを得ているということです。そのため、非常に危惧されているのです。まず第一に、イランは 4 億ドルを受け取りました。凍結されていた資産です。石油貿易禁止が解除され、西側の車会社や飛行機会社との経済協議に調印し始めています。当時のオバマ政権は、10 年後にはもうアッヤトーラのような者はおらず、物事は良くなっているだろう、と考えたのです。しかし、当然彼らは間違いでした。あちらでこういった人間が権力を握っている限り、しかも核協議があるのですから、誰も彼らを追い出そうとしません。そして、先ほども言ったように、最大の問題の一つは、イランの弾道ミサイルプログラムが、その中に含まれていない事です。そこでアメリカは、イランに制裁を課すことは出来ますし、既に行いました。しかし、それ以上にはなりません。ただ、皆さんに知っておいていただきたいのですが、我々が、心の底から信じているのは、イラン協議のいかなる変更でも、戦争になるリスクを高めるだろう、ということです。イスラエルにおいて、イスラエル周辺との軍事的対立のリスクが非常に高まります。もちろん、我々はそんなことを恐れてはいませんよ。しかし、イランはそれをイスラエルに攻

め込む口実に使うだろう、と我々は考えています。事実、イスラエルの上級将官が今日、「2018年に軍事的対立、もしくは戦争に突入する可能性は、これまでになく非常に高い。」と述べました。つまり、2018年にイスラエルと周辺国との間で、戦争が起こる確率が非常に高い、ということです。もちろん、エジプトやヨルダンとはなく、他にもない、現在、シリアとレバノンにいる勢力です。とても興味深いですね。イスラエルは、トランプ政権が核協議に何らかの変更をもたらすように促すのだと思います。しかし、もちろん、これを完全に取消すことは出来ません。もし、彼が望むなら、トランプがそこから撤退することは可能です。しかし、それだけです。私が思うに、アメリカが撤退し、そしてイランの怒りのために、最終的にあの地域に戦争をもたらすような、緊張が高まる方向に向かうのでしょうか。もちろん、私がこう言うとき、我々には完全にその準備が来ています。我々は何も恐れませんが、それどころか、我々は、彼らのあらゆる能力を破壊するために、先に攻撃したいのです。ちょうどエステル記で読んだとおり、我々は、あちらから攻撃を仕掛けてくるまで待ったりしません。むしろ彼らが、我々を攻撃する能力を破壊するため、こちらから先に激しく攻撃します。今回、私の情報源によれば、IDF（イスラエル防衛軍）は、ただ彼らの軍事基地を攻撃するのではなく、指導者を追及することを決断しました。つまりイスラエルは、他でもはくヒズボラの指導者を殺し、誰でもシリアでの責任者を殺す、必要であれば、イランの指導者さえも殺す、ということです。言い換えれば、いかなる指導者も、我々に対する攻撃を企む事を許さない。それを企む指導者は死刑になり、個人的にその報いを受けることになる、ということです。

それから、我々が耳にしたのは、新しい国連の機密議定書で、それによれば国連は、北朝鮮が数トンの化学兵器をシリアに密輸出していたことを発見したということです。シリアは、ずっと化学兵器を使用しています。今でさえ、我々のところには、シリアが自国民に対して化学兵器を使用している、と毎週のように報告が入りますし、オバマ政権が協議を成立させて以来、シリアは自国民を化学兵器で攻撃しています。そこで、もし彼らが持っていなかったのなら、それらはどこにあったんだろう？と疑問に思うでしょうが、言っておきますが、2012年以来、40回以上の異なる船荷が、北朝鮮からシリアに向かいました。実際、昨年だけでも、2回の積荷が阻止されました。それが彼らの手に渡る前に、我々が発見し、捕まえたのです。しかし明らかに、この数日間に膨大な積荷が届いたようです。それは、北朝鮮の代理として機能している中国の会社を通して行われました。彼らが運んだのは、兵器だけでなく、ブロックや建築資材も入っていたのです。シリア国内に、化学兵器工場を建てるためです。このように、彼らはその手の兵器を入手しているだけでなく、継続して製造する能力も得ているのです。

シリアでは、心休まる瞬間がありません。

ダマスカス郊外の東グータ（Ghouta）では、40万人の人々が休むことなく、自国民によって大虐殺されています。これらは全て、あちらにいる少数の反政府勢力のためで、アサドは、反政府勢力が降参しなければ、40万人を殺す、と決めているのです。これが、彼のやり方です。このように、近代史上最も残忍な出来事の一つ、シリア国民が、非常に残虐に大量殺害されているのを、現在我々は目撃しているのです。しかし世界は、全く何もしていません。

それから、あと二つほどあります。ロシアがシリアに持ち込んだステルス戦闘機 SU-57 (スホイ 57) は、ただあそこにあるだけではなく、ロシアはシリア国内で実験を行なっていて、それもこれまでに実験された事のない、200 もの武器が試されているのです。彼らはまさに、シリアをこれら全ての将来的な武器の実験場として利用しています。そして彼らが言うには、

「あちらでは、自由戦争が起こっていて、我々はその無料券を手に入れた。それなら、それを使おうじゃないか。」

こうして話をしているうちにも、ロシアによって、シリア国内で、異なる 200 種類の武器が実験されています。

ダマスカス近郊にある、新しいイランの基地についてお話をしました。それは恐らくイスラエルによって排除されるでしょう。それから、北朝鮮がシリアに運んだ化学兵器についてもお話をしました。彼らがあちらに渡そうとしていた、多数ある積荷の一部です。それがアサドによって使用されました。それから、2018 年に戦争が起こる可能性がかなり高い事についても、お話をしました。

しかし、皆さん、よく覚えておいてください。神が完全に支配しておられます。

それから、2600 年前のエステルとモルデカイの歴史で、イスラエルの代わりユダヤ人の代わりに、神がご介入されたのと同じように、今回も神がご介入されます。エステル記 8 章をお読みしたいと思います。エステルが王の前に出た時、エステルが言いました。8 章 6 節です。

**6 どうして私は、私の民族に降りかかるわざわいを見てがまんしておられましょう。また、私の同族の滅びるのを見てがまんしておられましょうか。」**

(エステル記 8:6)

ところで、「私の同族」はヘブル語で「私の故国」です。とても面白いですね。ですから、基本的に彼女が言っているのは、こうです。

「故国でも、イスラエルの民でも、そこに降りかかるわざわいを見て、どうして我慢しておられましょうか。」

我慢できない、と。そして、11 節にはこうあります。

**11 その中で王は、どこの町にいるユダヤ人にも、自分たちのいのちを守るために集まって、彼らを襲う民や州の軍隊を、子どもも女たちも含めて残らず根絶やしにし、殺害し、滅ぼすことを許し、また、彼らの家財をかすめ奪うことも許した。**

(エステル記 8:11)

ここで私たちに与えられ、保証されているのは、

① 自己防衛の権利

② 行って、滅ぼす権利

それは誰に対してだと聖書にはありますか？

彼らを“襲おうとする（口語訳）者”、我々を襲おうとする者です。

面白いと思いませんか？これは、我々が先制攻撃と呼ぶものの、明確な説明です。

ですから、皆さんどうか理解しておいてください。神が完全に支配しておられます。イスラエルはどこにも行きません。我々は唯一、生き残りをはっきりと保証されている国です。それだけではありません。ローマ書 11 章には

## 26 …イスラエルはみな救われる…

(ローマ 11:26)

と書かれています。神が完全に支配しておられることを、私たちは知っています。また、イスラエルの神はまどろむこともなく、眠ることもない(詩篇 121:4) ことを知っています。ですので、皆さんに言うておきます。ここイスラエルにいる私たちは、恐れていません。ここイスラエルは、とても美しい国です。今は春の季節で、緑が芽吹き、國中旅行客でいっぱいです。私たちは恐れていません。むしろ、恐れているのは、我々の周りの人たちでしょう。我々を完全に滅ぼそうと日夜企んでいる周りの人間たちは、恐れの中で生きています。彼らの国は、後れを取っています。彼らの国は未発達で、食料、飲料、水、仕事を請い求めているのです。問題を抱えているのは彼らであって、我々の国は失業率過去最低、過去最高の経済成長を遂げました。時々思うのですが、これ以上に良い事があるとは、想像出来ないほどです。といっても、我々は完璧ではありませんよ？それでも、考えてみてください。我々は、狂気の中に孤立していて、狂った近隣諸国に囲まれているのです。だから我々には、我々の上に置かれた確かな御手が見えるのです。それとももちろん、エゼキエル戦争が起こる時には、イスラエルは安全で、繁栄した国になっている、ということを私たちは知っていますね(エゼキエル 38:8 参照)。これはまさに、現在の状況です。

ということで、考えられないようなことが私たちの周りで起こっています。

信仰を保ってください。

皆さん、信仰を失うのはとても簡単です。簡単に、現在起こっている事に目を奪われます。そして、私たちの周りで起こっている蛮行や残虐さに失望するのは、簡単です。しかし、私たちは理解しなければなりません。現在起こっている事のどれ一つとして、新しいことはありません。この手の事、この手の極悪さは、初日からあった事です。皆さん、創世記 6 章を思い出してください。神は、実に深いことを言っておられます。

5 主は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪い事だけに傾くのをご覧になった。

(創世記 6:5)

神は…世の創造から、ほんの数章後ですよ。聖書には、6 節にこう書かれています。

6 それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。

(創世記 6:6)

分かりますか？そして、8 節です。

8 しかし、ノアは、主の心にながっていた。

(創世記 6:8)

もしかしたら、あなたのために、神は、まだこの世を見放しておられないのかも知れません。あなたも私も、引き止める者になれるのです。私たちのために、神はまだ、この世にあわれみと恵みを与え、悔い改めるようにしておられるのかも知れません。

今日のメッセージの締めくくりに…

様々な事を見て、多くの人が神に言っているでしょう。

「主よ！ どうして迎えに来てくれないのですか？」

「どうして携挙がまだ起きないのですか？」

「どうして、まだここにいるのですか？」

そこで、皆さん全員に思い出していただきたいのです。

第二ペテロ 3 章にはこう書かれています。

8 …主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせているのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

(第二ペテロ 3:8~9)

私たちは、神が主の民を救われるのだ、ということ覚えていなければなりません。

7 …不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。

(第二ペテロ 3:7b)

ですから、覚えていてください。

神は、誰かを滅ぼすためにそこにおられるのではなく、人々を救いたい、そして、もう少しの間だけ、未信者への主の恵みとあわれみを与えておられるのです。もしかしたら、彼らが立ち返るかもしれないからです。

私たち引き止める者、私たちの内に宿る聖霊が、第二テサロニケ 2 章にある「引き止める者」なのでしょう。そして、私たちが一旦ここを去ると、その時、想像を絶する事が起こります。それから、地獄の火蓋が切って落とされます。もちろん、神を恐れない人たちは喜ぶでしょう。そして、超自然的な悪が表明され、起こります。しかし、私たちがここにいる限り、物事はまだ制御されています。ですから、皆さんどうか、皆さんが「引き止める者」であることを覚えていてください。皆さんは、引き止めるものを宿す体です。私たちの祈り、この世での私たちの存在には、引き止める力があります。聖書には、イエスの山上の垂訓が書かれています。

13 あなたがたは、地の塩です。

(マタイ 5:13a)

塩は、肉の腐敗を遅らせます。崩壊のスピードを遅くします。



しかし、私たちがここを去った瞬間に、腐敗はあっという間に進み、全く違うものになります。ですから私たちは目的があって一時の間だけここにおり、私たちには、ここを去る時までやるべき事があるのです。

私たちは、人々に警告を与えるための、城壁の見張り人です。

私たちは、キリストの花嫁です。

## 17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

私たちは、主に来てほしいと、本当に願っています。

しかし、主が来られる時まで、——もちろん、私たちは主に来てほしいですよ。——主が私たちを迎えに来てくださるその時まで、主人に言いつけられた事を行う、忠実なしもべでいるところを、主に見て欲しいですね。

以上です。少しでも、皆さんの励みになればと思います。

明日、息子 Elad のバル・ミツバへ、お祝いの言葉をいただき、ありがとうございます。ここまで来られたことを、とても嬉しく思っています。皆さん、いろいろとありがとうございます。これをご覧いただき、ありがとうございます。

最後に、これまでにイスラエルを訪れたことのある方、特に私のツアーに参加したことのある方には、今年10月の「Alumni (卒業生) ツアー」の受付を開始しました。イスラエルとヨルダンを訪れて、イスラエルでも通常のツアーでは見られないような場所を訪れます。それから、ヨルダンではジャラシュ、ネボ山、ペトラ、その他を訪れます。素晴らしいですよ。私のヨルダンの片割れ、アルバートに会って、一緒に回るのがとても楽しみです。

それから、4月にはトルコとギリシャに行って、Bible Land Unveiled を撮影します。今回は、トルコとギリシャで、後にエジプト、ヨルダン、ローマ、マルタ、キプロスにも訪れます。これらの国に関する聖書の中のメッセージを、これらの国からお届けします。初めは、イスラエルからの「Israel Unveiled」でした。次は「Bible Land」(聖書の地)が明らかになります。

皆さん、ありがとうございました。最後にこの情勢アップデートを、アロンの祝福で終わらしましょう。ではお祈りしましょう。

	ヴェイシェメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וְיִתְנֶךָ	אֶלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֶלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るよう	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私たちの理解をはるかに超える平安です。世は平安を必要としていますが、平安が見つかりません。世が与えることが出来ず、理解することも出来ない平安です。

このお祈りを、主イエスの御名によってお捧げします。

アーメン。

まだニュースレターの登録をしていない方は、Behold Israel.org よりご登録ください。毎週ニュースレターが届きます。私のインスタグラム BeholdIsrael では素晴らしい写真がご覧いただけます。この数日、エルサレムで美しい写真が撮れました。フェイスブックは Behold Israel です。フォローしてください。ユーチューブも続けて登録してください。登録者数が 73,000 人を超えました。これには、本当にワクワクしています。動画は、確実に伝達的手段だと思っていますし、ユーチューブは今後も成長し続けるとしています。また、ライブがある時、新しくアップロードがある時には、通知が届きます。1月にフィリピンで話した二つのメッセージを、先週アップロードしました。一つは「Don't miss your visitation/訪れを逃すな」これは聖書預言の大切さについて、です。もう一つは「Middle East in Bible Prophecy/聖書預言の中の中東」あの地域について具体的に話をしていきます。

ありがとうございます。God bless you! エルサレムより、シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>